

2024年4月号：「機能性表示食品」届出は1,671社 22社が倒産や廃業

【2024年4月号の内容】

- 1) 「機能性表示食品」届出は1,671社 22社が倒産や廃業
- 2) JFE 商事審査部 インタビュー
- 3) 2023年度「円安」関連倒産56件に 前年度の1.5倍増、負債は2,000億円超
- 4) 中小企業では「受取手形等」の売上比率は低下傾向
- 5) 極地の氷が溶けることで「地球の自転速度」が遅くなっていた?!
- 6) ラジオ体操はフレイル対策に効果的!? 日本の研究報告

～ 「FC大阪」様が開催予定のホームゲームを無料でご招待 ～
当グループは地元大阪のサッカーチーム「FC大阪」様を応援しています。

【4月10日】vs ヴァンラーレ八戸

<https://forms.gle/c29WPFWRshCu9iG8>

【4月28日】vs アスルクラロ沼津

<https://forms.gle/D3xUTWYz1ng9XGML7>

【1】「機能性表示食品」届出は1,671社 22社が倒産や廃業

.....

小林製薬（株）の「紅麹」成分が入ったサプリメントを摂取した健康被害が広がっている。

東京商エリサーチ（TSR）は緊急点検が決まった「機能性表示食品」を届け出ている1,671社を分析した。

1,671社は、資本金1億円未満の中小企業が7割超を占め、13社が倒産、9社が休廃業・解散していることがわかった。

消費者庁は半年に一度の情報更新を要請しているが、製品のうち約15%が未更新となっており、届出企業のモラルとデータベースの信頼性も根底から問われている。

■詳しくはこちら

http://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198465_1527.html

※外部サイトとなります。

【2】 JFE 商事審査部 インタビュー

～ 与信管理から取引支援に拡大、商社審査はなくなる～

企業の与信管理の要諦は「審査部」だ。その活動が表舞台に出ることは少ないが、商取引や提携・買収にかかわる情報収集や検討、債権の保全・回収まで手掛けるケースもあり、幅広い知見と行動力が必要だ。

足元で企業倒産が増加傾向にあることに加え、海外取引の増加やマネーロンダリング防止に向けた取り組みなど、審査部に求められる業務の質は目まぐるしく変化している。

今の時代に求められる審査部とは――。

■詳しくはこちら

http://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198466_1527.html

※外部サイトとなります。

【3】 2023 年度「円安」関連倒産 56 件に 前年度の 1.5 倍増、負債は 2,000 億円超

2023 年度の「円安」関連倒産は 56 件で、前年度の 1.5 倍に増加した。

3 月は 2023 年度で 2 番目の 8 件発生し、円安が物価高などを招き、資金繰りに大きな影響を及ぼしている。

負債総額は 2,009 億 4,900 万円と大幅に膨らんだ。

これは 2023 年 5 月に FCNT（株）と関連 2 社が合計 1,775 億円を抱えて民事再生法を申請し、押し上げた。

■詳しくはこちら

http://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198469_1527.html

※外部サイトとなります。

【4】 中小企業では「受取手形等」の売上比率は低下傾向

公正取引委員会は、手形、一括決済方式又は電子記録債権の指導基準を変更し業種を問わず下請け企業に支払う約束手形の期限を 60 日以内に短縮する方針だ。手形の運用改正はおよそ 60 年ぶり。

また、2026 年には紙の約束手形を廃止し、電子記録債権に完全移行する。

手形に関する動きが活発だが、TSRの調査では、企業の手形等の残高が大手企業を中心に増加していることがわかった。

■詳しくはこちら

http://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198464_1527.html

※外部サイトとなります。

【5】極地の氷が溶けることで「地球の自転速度」が遅くなっていた?!

.....

今、温暖化の加速にともない極地の氷が急激なスピードで溶け始めています。

米カリフォルニア大学サンディエゴ校の地球物理学者であるダンカン・アグニュー氏は、新たな研究で極地の氷の融解によって地球の自転がわずかに減速していると指摘。

■詳しくはこちら

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12363-2921978/>

※外部サイトとなります。

【6】ラジオ体操はフレイル対策に効果的!? 日本の研究報告

.....

病気ではないものの、年齢とともに筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい状態を「フレイル（虚弱）」と呼びます。

予防するためには、適度な運動や栄養の管理が重要だと考えられてきました。

ラジオ体操は、日本で最も有名な運動プログラムのひとつです。

長い歴史を有することから、高齢者にとっても馴染みの深い運動プログラムといえるでしょう。

■詳しくはこちら

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12315-2921485/>

※外部サイトとなります。

※本メールはEST Groupのサービスをご利用いただいた方にお送りしています。

※今後EST Groupからのご案内が不要の場合、ご連絡ください。

※記載された内容は予告することなく変更される場合があります。

EST Group 株式会社

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2 丁目 1-14

(C) EST Group. All rights reserved.